



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月15日

上場会社名 株式会社 ワットマン

上場取引所 東

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川畑 泰史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理IRグループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,704	68.7	122	64.1	124	68.5	106	126.1
2022年3月期第1四半期	1,010	36.3	74	72.3	74	59.5	47	

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 104百万円 (122.2%) 2022年3月期第1四半期 47百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	48.65	
2022年3月期第1四半期	21.51	

(注)当社は、2022年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	4,300	2,613	60.2	1,184.36
2022年3月期	4,319	2,588	59.3	1,172.12

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 2,590百万円 2022年3月期 2,563百万円

(注)当社は、2022年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		80.00	80.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、2022年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

期末配当につきましては、第2四半期以降の業績に応じて、2022年3月7日発表「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」等に記載の「配当の基本方針」に従い、決定いたします。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,260	62.6	140	167.5	140	181.1	140		64.11
通期	6,928	28.1	400	48.4	400	37.2	322	22.0	147.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当第1四半期連結累計期間の業績は、2022年5月16日発表の「2023年3月期の連結業績予想」に対して順調に進捗しておりますが、当社グループの業績が下期偏重傾向にある事、また、現在の利益水準では、業績予想の前提となる行動と実際の企業行動の僅少な差異でも業績に与える影響が相対的に大きい事から、第1四半期末時点では業績予想の修正は行いません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	2,273,708 株	2022年3月期	2,273,708 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	86,437 株	2022年3月期	86,380 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	2,187,299 株	2022年3月期1Q	2,187,128 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期連結決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12
3. その他	13
仕入及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における国内及び海外経済は新型コロナウイルス感染症の流行が継続し、依然として厳しい状況にあります。また、ウクライナ情勢や、北米におけるインフレとそれに伴う金融引き締めにより、物流コストの上昇や供給ひっ迫が発生し景気の下振れ懸念が続いております。

当社グループはこのような厳しい外部環境に対応し、前連結会計年度に引き続き成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的に進めるとともに、収益の改善に努めてまいりました。

具体的には、コア事業の成長・スピノフ事業の成長・海外事業の成長を通じたオーガニックな成長及び前連結会計年度に本格化したインオーガニック事業成長を進めました。

営業政策面では、前連結会計年度に引き続き、ネット通販の強化、専門ジャンル強化、高粗利率ジャンル強化による粗利率改善等を進めました。店舗政策面では、2022年6月に、平塚梅屋事業所・雑色事業所を移転統合した「ワットマンテック・スタイル ワットマン OSC湘南シティ店」をオープンいたしました。また、ワットマンタイランドにおいてwarehouse(倉庫)型店舗への集約を進め、2022年4月にWATTMANN Lam Luk Ka 店をオープンし、当第1四半期末時点でタイ王国内の全5店舗すべてwarehouse型となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年と比べ6億94百万円(68.7%)増収の17億4百万円となりました。これは株式会社ホビーサーチを中心とした開閉店売上が前年同期と比べ6億48百万円増収の6億90百万円、および既存店売上が45百万円(4.7%)増収により10億14百万円となったことによります。

オーガニック事業における商品カテゴリー別売上高は、電化製品等が前年と比べ18百万円(9.9%)増収の2億8百万円、服飾等が42百万円(14.0%)増収の3億43百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が21百万円(9.2%)減収の2億12百万円、ホビーが専門業態(ワットマンホビー・ゲームステーション(GS))のスタートにより31百万円(23.2%)増収の1億67百万円、その他は各種専門業態(ワットマンSC(スポ・キャン)・ワットマンカメラ)のスタート等により23百万円(16.0%)増収の1億72百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上高は、ホビーが5億99百万円となりました。

売上総利益は、売上増収に伴い前年と比べ1億69百万円(25.8%)増益の8億27百万円、売上総利益率48.5%となりました。既存店は19百万円(3.2%)増益の6億50百万円、開閉店は1億49百万円(546.4%)増益の1億76百万円となりました。

オーガニック事業における商品カテゴリー別の売上総利益については、電化製品等が前年と比べ10百万円(8.3%)増益の1億35百万円、服飾等が14百万円(7.5%)増益の2億6百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が12百万円(8.1%)減益の1億39百万円、ホビーが12百万円(19.2%)増益の79百万円、その他は18百万円(15.5%)増益の1億39百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上総利益は、ホビーが1億25百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、主にホビーサーチ社連結により、前年と比べ1億21百万円(20.9%)増加し7億4百万円となりました。既存店では主に家賃増加により13百万円(2.5%)増加の5億58百万円、開閉店では主に上述のホビーサーチ社連結等により1億7百万円(283.4%)増加の1億45百万円となりました。

上記の結果、営業利益は、前年と比べ47百万円(64.1%)増益の1億22百万円となりました。既存店は6百万円(7.2%)増益の営業利益91百万円、新店は41百万円増益の営業利益30百万円となりました。経常損益は前年同期と比べて50百万円(68.5%)増益の124百万円となりました。

経常利益以下については、平塚梅屋事業所立退に伴う受取補償金44百万円の計上により、税金等調整前四半期純利益が前年と比べ89百万円(119.8%)増益の1億63百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円(126.1%)増益の1億6百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リユース事業

リユース事業セグメントにおいてはタイ王国と国内の新店開店と既存店増収により、外部顧客への売上高は前年に比べ94百万円(前年比109.4%)増収の11億4百万円、セグメント利益は売上増加により前年に比べ12百万円(前年比117.2%)増益の87百万円となりました。

②新品EC事業

新品EC事業においては外部顧客への売上高は5億99百万円、セグメント利益は35百万円となりました。

なお、上記記述においては2021年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としてお

ります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、27億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしております。

これは、現金及び預金が21百万円、売掛金が16百万円、その他が17百万円減少し、商品が42百万円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、15億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少しております。これは、建物(純額)が5百万円、のれんが7百万円それぞれ減少し、敷金及び保証金が7百万円増加したことなどが主な要因であります。

この結果、総資産は43億円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円の減少となりました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、10億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしております。

これは、買掛金が34百万円、賞与引当金15百万円それぞれ減少し、未払法人税等が14百万円、その他流動負債が13百万円それぞれ増加したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は6億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少しております。

これは、長期借入金が33百万円減少したことなどが主な要因であります。

この結果、負債合計は16億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、26億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円増加しております。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億6百万円計上されたこと、配当金が87百万円あったこと等により利益剰余金が18百万円増加したことが主な要因であります。

これらの結果、自己資本比率が60.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、2022年5月16日発表の「2023年3月期の連結業績予想」に対して順調に進捗しておりますが、当社グループの業績が下期偏重傾向にある事、また、現在の利益水準では、業績予想の前提となる行動と実際の企業行動の僅少な差異でも業績に与える影響が相対的に大きい事から、第1四半期末時点では業績予想の修正は行いません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,494,746	1,473,452
売掛金	195,288	179,006
商品	905,688	948,405
その他	170,874	153,140
流動資産合計	2,766,598	2,754,005
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	148,745	143,032
土地	382,457	382,457
その他	66,230	66,338
有形固定資産合計	597,432	591,828
無形固定資産		
のれん	275,646	268,392
その他	11,017	10,175
無形固定資産合計	286,663	278,568
投資その他の資産		
投資有価証券	5,058	4,995
敷金及び保証金	486,331	494,236
その他	177,874	177,147
投資その他の資産合計	669,265	676,379
固定資産合計	1,553,361	1,546,776
資産合計	4,319,960	4,300,781
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,250	232,216
短期借入金	68,600	73,600
1年内返済予定の長期借入金	141,280	138,780
未払法人税等	51,095	66,060
賞与引当金	30,490	14,878
契約負債	29,790	31,060
その他	465,660	478,955
流動負債合計	1,053,167	1,035,551
固定負債		
長期借入金	554,032	520,240
退職給付に係る負債	35,205	36,860
その他	89,468	94,188
固定負債合計	678,706	651,290
負債合計	1,731,874	1,686,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,381,380	1,389,888
利益剰余金	879,107	898,034
自己株式	△101,390	△101,468
株主資本合計	2,659,097	2,686,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	868	1,025
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	△421	△1,235
その他の包括利益累計額合計	△95,279	△95,935
非支配株主持分	24,267	23,420
純資産合計	2,588,085	2,613,939
負債純資産合計	4,319,960	4,300,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,010,065	1,704,436
売上原価	352,387	877,119
売上総利益	657,678	827,316
販売費及び一般管理費	582,831	704,476
営業利益	74,846	122,840
営業外収益		
受取利息	245	118
受取配当金	47	58
受取手数料	2,198	2,183
為替差益	-	1,002
その他	717	1,047
営業外収益合計	3,209	4,409
営業外費用		
支払利息	781	1,082
長期前払費用償却	1,094	1,094
為替差損	2,085	-
その他	31	241
営業外費用合計	3,991	2,417
経常利益	74,064	124,832
特別利益		
保険差益	326	-
受取補償金	-	44,963
特別利益合計	326	44,963
特別損失		
投資有価証券売却損	-	49
固定資産除却損	-	2,300
店舗閉鎖損失	-	3,915
特別損失合計	-	6,265
税金等調整前四半期純利益	74,390	163,530
法人税等	27,326	57,110
四半期純利益	47,064	106,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,064	106,420

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	47,064	106,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	157
為替換算調整勘定	161	△1,660
その他の包括利益合計	160	△1,503
四半期包括利益	47,224	104,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,142	105,763
非支配株主に係る四半期包括利益	82	△847

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,010,065	—	1,010,065	—	1,010,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,010,065	—	1,010,065	—	1,010,065
セグメント利益	74,846	—	74,846	—	74,846

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	74,846
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	—
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	74,846

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,104,811	599,624	1,704,436	—	1,704,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,104,811	599,624	1,704,436	—	1,704,436
セグメント利益	87,713	35,127	122,840	—	122,840

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	122,840
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	—
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	122,840

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

前第3四半期連結累計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「リユース事業」単一セグメントから、「リユース事業」「新品EC事業」に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第1四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

(報告セグメントに属する主要な製品及びサービス)

「リユース事業」セグメントに区分される事業は、従前同様にリユース商品中心の国内2都県およびタイ王国の店舗販売及びネット販売事業です。

「新品EC事業」セグメントに区分される事業は、新品商品中心の自社ECサイト販売事業です。

(収益認識関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	379,462	—	—	379,462
ワットマンテック業態	232,818	—	—	232,818
ブックオフ業態	231,271	—	—	231,271
ワットマンホビー(含むGS)業態	92,855	—	—	92,855
カウマン業態	16,852	—	—	16,852
Warehouse Store(タイ)	28,702	—	—	28,702
その他	28,101	—	—	28,101
顧客との契約から生じる収益	1,010,065	—	—	1,010,065
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,010,065	—	—	1,010,065

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	430,156	—	—	430,156
ワットマンテック業態	245,984	—	—	245,984
ブックオフ業態	212,929	—	—	212,929
ホビー関連業態	116,959	599,624	—	716,584
カウマン業態	17,902	—	—	17,902
Warehouse Store(タイ)	37,104	—	—	37,104
その他	43,775	—	—	43,775
顧客との契約から生じる収益	1,104,811	599,624	—	1,704,436
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,104,811	599,624	—	1,704,436

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	69,515	15.8	△8.5
	服飾等	146,622	33.4	28.4
	パッケージメディア	75,954	17.3	△6.1
	ホビー	109,192	24.8	17.0
	その他	38,181	8.7	8.9
合計		439,467	100.0	10.0
ホビーサーチ	ホビー	475,392	100.0	—
合計		475,392	100.0	—
総合計		914,859	—	129.0

(注) 1 金額は仕入価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	208,480	18.9	9.9
	服飾等	343,362	31.0	14.0
	パッケージメディア	212,097	19.2	△9.2
	ホビー	167,938	15.2	23.2
	その他	172,933	15.7	16.0
合計		1,104,811	100.0	9.4
ホビーサーチ	ホビー	599,624	100.0	—
合計		599,624	100.0	—
総合計		1,704,436	—	68.7

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。